

平成20年度第1四半期 証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、金融安定化フォーラム（F S F）の報告をふまえて、平成20年度第1四半期における証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況について、以下のとおり報告します。

なお、表中の項目については次のように定義しています。

- ・含み損益は、時価から帳簿価額を差し引いたものです。
- ・実現損益は、売却損益、償還損益および減損額の合計です（利息及び配当金等収入は含めていません）。

1. 投資状況

(1) 特別目的事業体(SPEs)一般

平成20年度第1四半期末での保有、平成20年度第1四半期での実現損益はありません。

(2) 債務担保証券(CDO)

平成20年度第1四半期末での保有、平成20年度第1四半期での実現損益はありません。

(3) その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

平成20年度第1四半期末での保有、平成20年度第1四半期での実現損益はありません。

(4) 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:億円)

	時 価		含み損益		実現損益
		平成20年3月末比		平成20年3月末比	
商業用不動産担保証券(CMBS)(注)	264	△39	△0	△0	—
日本	264	△39	△0	△0	—

(注) 裏付けとなる不動産の用途別内訳は、オフィス用不動産92%、商業用施設8%(いずれも帳簿価額ベース)です。

(5) レバレッジド・ファイナンス

平成20年度第1四半期末での保有、平成20年度第1四半期での実現損益はありません。

(6) その他の証券化商品等

(単位:億円)

	時 価		含み損益		実現損益
		平成20年3月末比		平成20年3月末比	
①RMBS	4,343	340	△20	△39	△1
日本	3,123	234	△2	△69	—
米国 (注1)	1,219	105	△18	30	△1
②ヘッジファンド (注2)	1,130	58	△119	77	△2
③クレジットリンク債・ローン	771	△4	11	△4	—
④その他(その他の仕組債等を含む)	1,507	△21	1	0	—

(注1) 米国RMBSのうち、GSE(米国政府支援機関・・・ファニーメイ、フレディマック)保証のRMBSの時価は874億円です。

(注2) ヘッジファンドを通じた間接的なサブプライムローン関連商品のエクスポージャーは、ヘッジファンドの残高の1%未満です。実現損益△2億円のうち△1億円、含み損益△119億円のうち△96億円は為替要因です。

2. 証券化商品等全体の内訳

平成20年度第1四半期における、サブプライムローン関連商品での損失はありません。また、平成20年度第1四半期末におけるサブプライムローン関連商品への直接投資はありません。証券化商品等全体への投資状況は以下のとおりです。

(単位:億円)

	時 価		含み損益(注)		実現損益
		平成20年3月末比		平成20年3月末比	
証券化商品等全体	8,016	322	△126	33	△4
CMBS	264	△39	△0	△0	—
RMBS	4,343	340	△20	△39	△1
ヘッジファンド	1,130	58	△119	77	△2
クレジットリンク債・ローン	771	△4	11	△4	—
その他(その他の仕組債等を含む)	1,507	△21	1	0	—

(注) うち為替要因に関する含み損は△123億円です。

3. その他

平成20年度第1四半期末における、明治安田生命でのサブプライムローン関連商品の保有はありませんが、海外の連結子会社（生命保険会社）1社において、サブプライムローンを裏付資産とした資産担保証券への投資があります。

金額は、平成20年度第1四半期末の時価、含み損益、平成20年度第1四半期における実現損益とも1億円未満です。

【用語について】

CMBS	商業用不動産担保ローンを裏付資産とする資産担保証券
RMBS	住宅ローンを裏付資産とする資産担保証券
クレジットリンク債	債券に別の信用リスクを結びつけた証券
クレジットリンクローン	ローンに別の信用リスクを結びつけた証券化商品

以上